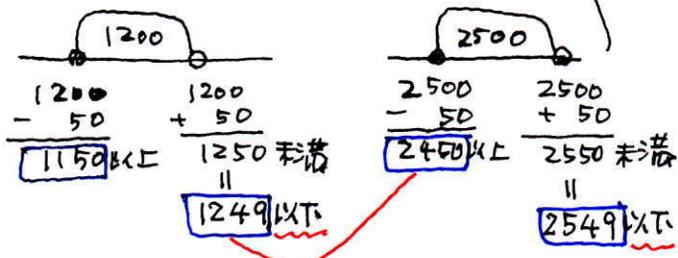


必修例題1 数の範囲

- (1) 2つの整数をそれぞれ四捨五入して、百の位までの概数にしたところ、1200と2500になりました。もとの数の差が最も小さくなる時、その差はいくつですか。
- (2) 14で割ったとき、その商の小数第1位を四捨五入すると9になる整数がいくつかあります。このような整数を全部加えるといくらになりますか。
- (3) $\frac{3}{31}$ より大きく $\frac{13}{51}$ より小さい、分子が1の分数は何個ありますか。

(1) 十の位を四捨五入した。

50の幅を考えます。



差が最も小さくなるのは2数が最も近いとき。
したがって、 $2450 - 1249 = 1201$

1201

(3) $\frac{3}{31} < \frac{1}{\square} < \frac{13}{51}$

$\frac{3 \div 3}{31 \div 3} = \frac{1}{10.3} \dots$ $\frac{13 \div 13}{51 \div 13} = \frac{1}{3.9} \dots$

$3.9 < \square < 10.3$

(分母は大きさが逆になる)

$\square = 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10$ の
7個。

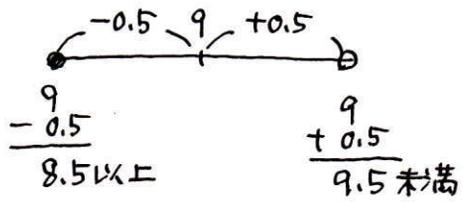
7個

(2)

ある数を14で割りますから $14 \overline{) x}$

このxは、小数第1位を四捨五入すると9になる数です。

小数第1位を四捨五入した数ですから 0.5の幅を考えます。



すると

$\square = 14 \times 8.5 = 119$ 以上

$14 \times 9.5 = 133$ 未満 となります。

119 から 132 までの数を加えます。
数字の数は $132 - 119 + 1 = 14$ (個)

ガウスの計算で

$(119 + 132) \times 14 \div 2 = 1757$

↑ はじめの数 ↑ 終りの数 ↑ 個数

1757